

## 単元について

### ○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説国語科第5学年及び第6学年、「B書くこと」の指導事項(1)「ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。」「カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。」の内容を受けて設定したものである。

本単元では、学習指導要領の「B書くこと」の言語活動例(2)「ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。」を基に海田町の季節の風物詩的な行事である「かいた七夕さん」を地域の方に宣伝する文章を書き、チラシにまとめる言語活動を位置付ける。

児童はこれまでに、観察記録文、手紙、報告文、紹介文、ポスター、物語、詩、俳句などの様々な形式の文章や詩歌を書く学習を行っているが、宣伝文を書くことは初めての学習である。宣伝文は、宣伝する事物が不特定多数の読み手にとってどのように有意義であるか簡素にまとめた形式の文章である。宣伝文では、宣伝する事物についてよく認識をし、確かな理由や根拠を基に宣伝することが大切である。本単元では、児童だけでなく地域の方にも親しみのある「かいた七夕さん」の魅力やよさを伝える宣伝文を書くことを通して、書く事柄を収集したり整理したりする力や、宣伝文を交流し表現の工夫や効果について確かめる力や、さらによりよい宣伝文にするために考えたりする力を身に付けさせることをねらいとしている。また、実際に作成したチラシを地域に配布するという目的をもたせ、書いたものを多くの人に伝える楽しさや喜びを感じさせることができると考える。

### ○ 児童観

児童は、第5学年の国語の時間での総合的な学習の時間に行ったトマトの「凜々子」の栽培活動である「凜々子大作戦！」を活動報告文にまとめる学習では、事実と感想、意見などを明確にし、読み手に伝わるように文章を書く力をつけることができた。また、海田町出身の日本人初の金メダリスト織田幹雄の紹介文にまとめるリーフレットを作成する学習では、人物の生き方や考え方を効果的に伝えたりするために、見出しや全体の構成の効果を考え、自分の考えを明確に表現するために文章を構成する力が身に付き始めている。しかし、今回の学習のように不特定の人に向けて文章を書く経験はほとんどなく、文章を読み表現をよりよくするために助言したり、書き手の意図が効果的に表現できているかどうか交流したりすることに課題が見られる。

本学級の児童は、今年度の全国学力・学習状況調査において、目的や意図に応じ、必要な内容を整理して記述する問題(B2三)の通過率は37.8%(自校採点)であった。目的に応じて、複数の情報から必要な内容を取り出して、それらを関係付け論理的に考えることに課題がある。「かいた七夕さん」について収集した情報から必要な情報を選び、それらを関係付けながら「かいた七夕さん」の魅力やよさを論理的に表現する力を本単元で付けていくことが必要である。

### ○ 指導観

課題の設定では、総合的な学習の時間「海田東小発未来をえがく～地域とコラボで実現しよう～」の活動を想起し、国語科の学習と結び付けてどのような学習ができるか考えさせる。これまでに学習した国語科の言語活動を想起しながら、地域の方に「かいた七夕さん」の参加を呼びかける宣伝文を載せたチラシを作成するという学習課題を設定する。作成した「かいた七夕さん」の宣伝のチラシは、地域に回覧することを伝えることで、読み手がどのような人たちなのか考え、「誰に」「どのようなことを」宣伝するのか、相手意識と目的意識を明確にしていく中で、地域の方に「かいた七夕さん」について宣伝したいという意欲を高めさせる。多くの人に「かいた七夕さん」の魅力を伝え参加を呼びかける目的意識を明確にし、「概要」「具体」「意見や考え」という宣伝文の構成について気付かせた上で、情報を収集させる。

整理・分析する過程においては、「かいた七夕さん」は海田の人々にとってどのように有意義な行事であるかなど、「かいた七夕さん」の魅力についてこれまでの経験や総合的な学習の時間に「かいた七夕さん」実行委員会の方から聞いた情報などと関係付け、思考ツールの「お魚ボーン図」を利用し多面的に考えさせる。

作品を交流し合う場面では、宣伝文に必要な条件である「見出し」「宣伝の内容」「表現の仕方」を評価の観点として明確にした上で、宣伝文を交流させる。だれにどのような目的で宣伝文を書いたのか書き手の意図を説明したメモを基にして、さらによりよい宣伝文にするための助言を具体的に考えさせる。そして、友達からの助言を基にして修正した宣伝文は、学校や「かいた七夕さん」当日に配布させる。

### 単元の目標及び内容について

- 経験や集めた情報を基に、「かいた七夕さん」の魅力やよさを地域の方に宣伝する文章を書こうとする。 【関心・意欲・態度】
- 「かいた七夕さん」のよさが伝わるように、自分の経験に基づいて感じたり考えたりしたことを関係付けながら宣伝文に書く事柄を収集し、整理することができる。 【書くこと ア】
- 書いた宣伝文を読み合い、宣伝文の工夫や効果について確かめたり考えたりすることができる。 【書くこと カ】
- 「かいた七夕さん」を宣伝するために、効果的な言葉の使い方を意識しながら宣伝文を書くことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (カ)】

### 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】地域行事「かいた七夕さん」を宣伝する文章を書き、チラシを作成する。		
経験や集めた情報を基に、「かいた七夕さん」の魅力やよさを地域の方に宣伝しようとしている。	「かいた七夕さん」のよさが伝わるように、自分の経験に基づいて感じたり考えたりしたことを関係付けながら宣伝文に書く事柄を収集し、整理している。 書いた宣伝文を読み合い、宣伝文の工夫や効果について確かめたり考えたりしている。	「かいた七夕さん」を宣伝するために、効果的な言葉の使い方を意識しながら宣伝文を書いている。

### 単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・「かいた七夕さん」を宣伝するために収集した事柄を整理・分析したり、さらに必要な情報を収集したりして、「かいた七夕さん」を宣伝する効果的なチラシを作成しようとしている。	・「かいた七夕さん」を宣伝するために書く事柄を収集・整理して、「かいた七夕さん」を宣伝する効果的なチラシを作成しようとしている。
【思考力】	・「かいた七夕さん」の宣伝文に取り上げる内容を読み手を意識しながら多面的に分析し、効果的な表現を工夫したり評価したりしている。	・「かいた七夕さん」の宣伝文に取り上げる内容を多面的に分析し、効果的な表現を工夫したり評価したりしている。
【自己理解】	・町づくりに参加するために「かいた七夕さん」を宣伝するチラシを作成することの価値に気づき、次の学習へ学びをつなげようとしている。	・町づくりに参加するために「かいた七夕さん」を宣伝するチラシを作成することの価値に気付いている。

# 指導と評価の計画

全8時間

次	時	学習内容	評価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
		<b>総合的な学習の時間</b> <b>「海田東小発未来をえがく～地域とコラボで実現させます～」</b> ○海田町の一員として、「よりよい町づくり」に向けた活動を地域行事「かいた七夕さん」にボランティアとして参加する活動を企画し、実現する。					
一	1	<b>課題の設定（2）</b> ○総合的な学習の時間を想起し、国語科の学習と結び付ける。 ・総合的な学習の時間「海田東小発未来をえがく～地域とコラボで実現しよう～」の活動を想起し、地域の方に「かいた七夕さん」への参加を呼びかける宣伝文を書くという学習課題を設定する。	○			・地域行事「かいた七夕さん」を宣伝する文章を書くことに関心を持ち、主体的に宣伝する方法や内容を考えようとしている。	ノート 行動観察
	2	○宣伝文について考え、学習の見通しを立てる。 ・読み手がどのような人たちなのか考え、宣伝するために必要な事柄（日時、場所、内容、「かいた七夕さん」の魅力）や宣伝文の構成（概要、具体）について考える。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。	○			・宣伝するために必要な事柄や観点を理解し、単元で付けたい力について考えようとしている。	ノート 行動観察
二	3	<b>情報の収集（1）</b> ○宣伝したい内容を書き出す。 ・宣伝したい内容を書き出し、グループで内容を整理する。		○		・経験などを基に、「かいた七夕さん」の魅力や宣伝したい内容について情報を整理している。	ワークシート 行動観察
		<b>総合的な学習の時間</b> <b>「海田東小発未来をえがく～地域とコラボで実現させます～」</b> ○実行委員会の方から、「かいた七夕さん」のこれまでの経緯や思い等を聞き、ボランティア活動に向けて情報を集める。					
	4	<b>整理・分析（1）</b> ○宣伝文に取り上げたい内容を整理・分析し、内容を決める。 ・宣伝したい内容について、読み手にどのように有意義なものか役立つものか多面的に考える。		○		・「かいた七夕さん」の宣伝文に取り上げる内容を多面的に考えている。	ワークシート 行動観察 ノート
	5	<b>まとめ・創造・表現（2）</b> ○宣伝文に載せる内容を決め、下書きをする。 ・「かいた七夕さん」の魅力が効果的に宣伝できるように取り上げる事例を具体化したり、読み手を引きつける見出しを考えたりして、宣伝文の下書きをする。			○	・「かいた七夕さん」を宣伝するために、効果的な言葉の使い方を意識しながら宣伝文を書いている。	ワークシート 行動観察

宣伝に必要な「かいた七夕さん」についての情報収集

次	時	学習内容	評 価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
二	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下書きを推敲し，清書を行う。</li> <li>・書いた文章を読み直し，「かいた七夕さん」の宣伝が効果的にできているかどうかを確かめ，改善しチラシの清書をする。</li> </ul>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み手に興味を引くような効果的な言葉の使い方を意識しながら清書している。</li> </ul>	行動観察 作品
		<p><b>実行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「かいた七夕さん」の宣伝のチラシを地域に回覧する。</li> </ul>					
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品を交流する。</li> <li>・作品を読み合い，友達の仕事の工夫を見付けたり，さらによい作品にするための助言をしたりする。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【本時】</b></p>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宣伝文の目的をふまえ，作品について評価し助言し合っている。</li> </ul>	行動観察 評価付箋 ノート
三	8	<p><b>振り返り（１）</b></p> <p><b>学びのモニタリング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自らの学びや学び方を振り返る。</li> <li>・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや作品を基に自らの学びを振り返る。</li> </ul>	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・町づくりに参加するために，「かいた七夕さん」を宣伝するチラシを作成する価値について考えたり，自らの学びや学び方を振り返ったりしようとしている。</li> </ul>	行動観察 ワークシート

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- よりよい宣伝文にするために、評価の観点（見出し、宣伝の内容、表現の工夫）で助言し合うことができる。

### (2) 本時の評価規準

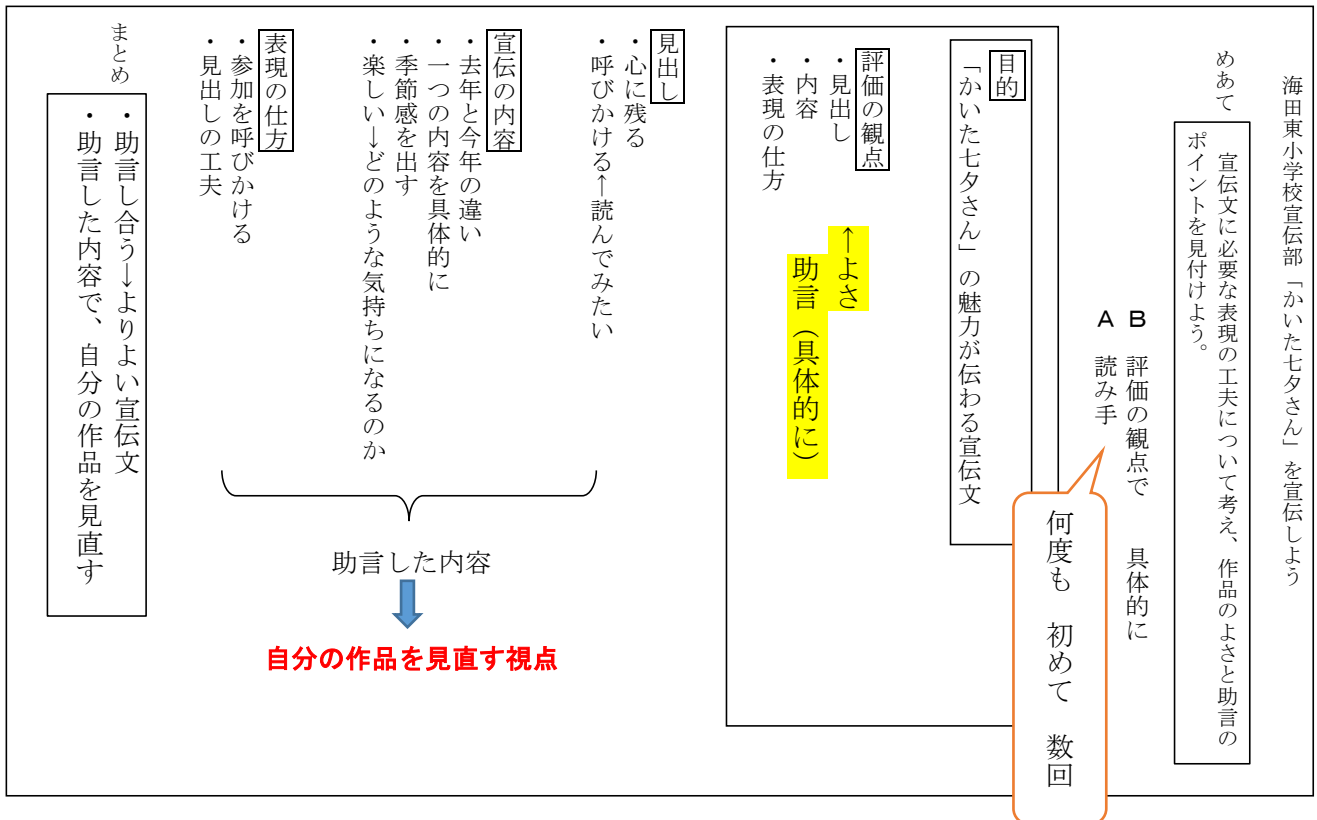
- 宣伝文を書く目的をふまえ、評価の観点（見出し、宣伝の内容、表現の工夫）に基づき、よりよい宣伝文にするために具体的に助言し合っている。 **【書く能力】**

### (3) 本時の学習展開（7時間目／全8時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 本時の学習課題を確認する。  めあて	◇友達の宣伝文を交流し合い、作品を評価する力を付けることを確認する。	
宣伝文に必要な表現の工夫について考え、作品のよさと助言のポイントを見付けよう。		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>本時のゴールの見通し</b>  <b>A</b>：読み手の立場を意識して、評価の観点に基づき具体的に助言している。  <b>B</b>：評価の観点に基づいて、具体的に助言している。           </div>		
2 宣伝文を交流する。 ○友達の作品を読み合い、作品をよりよくするために助言しましょう。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <input type="checkbox"/>思考の場の工夫 <b>評価する</b>              書く目的をふまえ、評価の観点でよさを見付けたり助言したりしている。           </div>  (よさ) ・読んでみたくなるような見出しになっている。 ・海田町の夏の風物詩であることを宣伝している。 ・参加することで、どんなよいことがあるか具体的に書かれている。 ・読み手の興味を引きつける呼びかけの文に工夫がある。  (助言) ・見出しの言葉を短くする。 ・楽しいという言葉だけではなく、どのような気持ちになるか表現したり、何が楽しいか詳しく書いたりする。 ・去年と今年の違いを書いていると、これまでに参加したことのある人も今年行ってみたくなる。 ・参加を呼びかける表現を使うと、行ってみたくてと思わせる効果がある。	◇助言では、書く目的に応じた文章の表現になっているかどうか考え、修正すべき内容と、どのように書き換えればよいか、具体を示すように指示する。 ◇「見出し」「宣伝の内容」「表現の仕方」の観点で宣伝文を交流することを確認する。 ◇事前に作品のよさや助言できそうなことを付箋に記入させておく。 ◆自分の宣伝文と比べながら、表現の工夫や内容のよさを見付けたり、3つの観点のうち、一つの観点到に絞り作品を読み比べたりするように指示する。	

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力</p>
<p>3 全体で交流する。 ○どのように助言したり、助言をもらったりしましたか。</p> <p>4 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>◇相手に助言することによって、自分の考えを深めたり、表現の参考にしたりすることができることに気付かせる。</p> <p>◇助言し合うことによって、「どのような考えが深まったか」、「どのように宣伝文がよりよくなったか」という視点で振り返りをさせる。</p>	<p>◎評価の観点に基づき、よりよい宣伝文にするために具体的に助言し合っている。〔書く能力〕(行動観察・評価付箋・ノート)</p>
<p>★めざす児童の姿 清書をして、よい宣伝文が書けたと思っていたが、友達の作品を読んだり助言をもらったりすると、さらによりよい宣伝文になることが分かった。「楽しい」という表現を使っていたが、「ワクワクする」「もっとやってみたくなる」など具体的な気持ちで表現すると、よりよい宣伝文になることが分かりました。</p>		
<p>◇次時は、本時の助言を基に宣伝文を修正したり、友達からの評価付箋などを基に学習を振り返ったりすることを確認する。</p>		

(4) 板書計画





学びのモニタリング

海田東小宣伝部「かいた七タさん」を宣伝しよう

〈参考〉 学びのモニタリング

六年 組

	/	/	/	/	日付
5					5
4					4
3					3
2					2
1					1
					振り返り

● 主体性

アクションを起こす力

● 思考力

しっかり考える力

● 自己理解

自分のよきや成長に気づく力

5 とてつたぐたく  
できた

4

3 できた

2

1 できなかった

主体性・・・

行動する力

- ・ 宣伝文を書くために、進んで取材する。
- ・ よりよい宣伝文を書くこととする。

思考力・・・

考える力

- ・ 宣伝文に取り上げる「かいた七タさん」の内容を多面的に考える。
- ・ 宣伝文の効果的な表現を工夫したり、助言したりする。

自己理解・・・**成長に気づく力**  
宣伝文を書く価値について気付く。

学び方をふり返って

成長したこと

課題だと思つこと  
や次の目標

総合的な学習の時間と結び付けた国語科の学習について



